伊方中学校　少年式記念行事「少年の日記念ウォーク」スタート

ふれあいいかた

生涯学習だより

自覚・立志・健康

～ 2月4日（水）、町内の3中学校で少年式が開催されました ～

3月号

平成27年3月1日発行　No.119
■発行　伊方町教育委員会
■編集　教育委員会事務局 生涯学習室

「自覚」「立志」「健康」

～町内の中学校で少年式を開催～

少年式とは、昔の「元服」に当たるもので、14歳のお祝いとして愛媛県内の中学校では昭和39年から行われています。14歳になると少年法の施行対象となり、自分の行動に責任を持たなければいけないので「自覚」「立志」「健康」の3つを目標に定めています。

今年、少年式を迎える町内の中学2年生は、伊方中学校46名、瀬戸中学校10名、三崎中学校34名です。

2月4日（水）、町内の中学校で少年式の式典が開催され、伊方中学校、三崎中学校では式典の後に、瀬戸中学校では、1月31日（土）にそれぞれ記念ウォークが行われました。

瀬戸中学校　式典での決意発表

三崎中学校記念行事「メロディーウォーク」

伊方中学校　式典での決意発表

人生の大きな節目に！

～厄年、還暦のみなさんが集い成人講座を開催～

2月1日（日）、生涯学習センターにおいて平成27年伊方町成人講座を開催しました。この事業は、厄年といわれる33歳の女性、42歳の男性並びに61歳の還暦の男女が一堂に集い、学習や交流の場を通じて今後の家庭や町づくりを考える日として実施しています。

この日は、46名の皆さんにご参加いただき厄払い神事や記念撮影を行った後、成人講座を行いました。

今回の講師は、町見歯科診療所所長の宇都宮久記先生です。「食べる楽しみいつまでも」という演題で講演をしていただきました。その後、懇親会では、久々の友との再会に話もはずんでいました。

人生の大きな節目といわれる「厄年」を迎えられ、参加された皆さんは、改めて人生を振り返ると共に更なる誓いを立てられたことでしょう。

今後、なお一層のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

厄払い神事

熱心に聞く参加者のみなさん

湊浦チーム（1部）が連覇！

～第44回伊方駅伝大会開催～

2月8日（日）、教育委員会及び体育協会伊方支部の主催で、恒例の伊方駅伝大会を開催しました。

コースは、田之浦集会所横をスタート、大浜で折り返し伊方中学校をゴールとする18・94㎞。

チームは、3つの部門があり、1部は地域単位の年齢別10名で構成するチーム、2部は小学校5年生以上の愛好者チームで男子は5名、女性は7名で構成します。

今回参加したのは22チーム。山口教育委員長のピストルの合図で、第一走者が一斉にスタート、沿道の声援を受けながら一本のタスキに思いを込めて繋いでいきました。

1部は、強豪「湊浦チーム」が連覇、2部男子では、「伊方中野球部」が優勝、2部女子では、「伊方中バレー部A」が優勝しました。

成績表

部	順位	チーム名	記録
1部	優勝	湊　浦	1:08:12
	2位	大　浜	1:09:28
	3位	小中浦	1:12:58
2部男子	優勝	伊方中野球部	1:11:06
	2位	伊方中バスケ部A	1:13:51
	3位	伊方中バスケ部B	1:14:28
2部女子	優勝	伊方中バレー部A	1:18:39
	2位	伊方中バスケ部A	1:18:54
	3位	伊方小ミニバスA	1:19:53

湊浦チーム V2優勝（1部）

田之浦集会所前を一斉にスタート

女性によるパワフルな活動を！

～伊方町女性のつどい開催～

1月18日（日）、地域の女性指導者39名が参加し、平成26年度伊方町女性のつどいが開催されました。

この事業は、「健康で明るく心豊かな住みよい町づくりのために、女性によるパワフルな活動を展開しよう」というテーマのもと、伊方町婦人会（渡邉紀代会長）と町教育委員会が共催し、毎年実施している事業です。

今年度は、愛媛県教育委員会生涯学習課成人教育係長の佐藤郁子先生をお招きし「笑顔いっぱいボランティア」と題して講演が行われ、講演終了後は、伊方スポーツセンター健康運動指導士　渡辺勅数先生を講師に迎えて「正しい骨格ラインへのトレーニング」について指導を受け、レクリエーションを交えながらの講座で、大変賑やかな楽しい時間を過ごしました。

伊方スポーツセンターだより

3月3日（火）16：30～17：20は
『キッズコア体操の日』
いろいろな運動で身体を使います。
参加費：500円

3月11日（水）19：00～19：50は
『大人の水泳教室の日』
初心者を対象に指導いたします。
参加費：500円

○3月13日（金）10：30～11：00
○3月24日（火）13：30～14：00
『セルフフットケアの日』
血流、リンパの流れを促す効果があります。
参加費：200円（施設使用料のみ）

◎注　意：事前に申し込みをお願いします。

詳しくは伊方スポーツセンターまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせは、伊方スポーツセンター
電話38-1100または38-0776へ

一本のタスキと共に三崎路を駆け抜ける

～第47回三崎駅伝大会～

三崎公民館

新春の三崎路を駆け抜ける「第47回三崎駅伝大会」が1月18日（日）に開催され、小学生から大人までの6部門38チームで熱戦を繰り広げました。

旧佐田岬小学校前のスタートラインに集まった選手達は、午前9時30分の号砲を合図に一斉にスタート。井野浦集会所前を折返し、三崎公民館前をゴールとする6区間15㎞でチーム一丸となってタスキを繋いでいきました。

沿道や各中継所では、集まった大勢の人から送られる暖かい声援が、選手達を後押ししていました。

レースは一般の部において中盤から混戦を抜け出した、四E伊方Aチームとファイヤーマンチームでトップ争いを繰り広げ、11秒差で四E伊方Aチームが優勝しました。また、昨年より変更された新しい区間と部門による2回目の大会ということもあり、区間新記録を33選手が更新し、大会を大いに盛り上げました。その他の成績は表のとおりです。選手の皆様、お疲れ様でした。

優勝チーム

部門	チーム名	記録
小学生の部	大久スポーツ少年団	1:03:52
中学男子の部	バレーA	55:05
中学女子の部	バレーA	1:04:40
高校男子の部	三崎高校軟式野球部A	56:15
一般の部	四E伊方A	56:25
女子の部	三崎高校女子バレー部	1:09:15

小学生の部優勝の
大久スポーツ少年団チーム

号砲を合図に駆け出す選手達

選手宣誓をする
ファイターズAチームの
島田晃佑選手

中央教室「こどもスキー教室」

中央公民館

1月26日（月）、学芸会の振替休業日を利用して、伊方小・水ヶ浦小の6年生12名で久万スキーランドにて「こどもスキー教室」を開催しました。

この日は、朝から雨模様でスキー場でも雪交じりの雨となっていたため、最初は室内においてインストラクターの方からの注意事項等のお話を聞きました。

その後、早速ゲレンデに出て2名のインストラクターの方の指導のもと、基礎をしっかり教わりました。子ども達のスキーの上達具合には目を見張るばかりで、全員が午前中のうちに滑れるようになっていました。

午後からも、リフトに上手に乗り子ども達はゲレンデをどんどん滑っていました。

そして、スキー教室が終わる30分前からは天候も少しよくなり、ゲレンデを滑り降りて来る子ども達はとても楽しそうで、伊方町と違った自然に触れ、普段体験することが出来ない「スキー」を満喫していました。

学校の枠を超えて交流することで、友達の輪を更に広げることができたのではないかと思います。

スケート体験　～子ども会学習会～

町見公民館

1月27日(火)、九町小学校児童24名・保護者12名、教員3名、担当者2名の総勢41名が、松山市のイヨテツスポーツセンターでスケート体験に参加しました。

この子ども会学習会は、通常の学習の他に体験学習として、夏休みに新居浜市総合科学博物館を視察、年末に門松作りを行い、今回はスケートを体験しました。

イヨテツスポーツセンターでスケート靴やヘルメットをレンタルし、午前中は小さいスケートリンクで歩行練習等を行い、午後からいよいよ大きいスケートリンクでスケート体験開始です。

参加児童や保護者の大半が昨年も経験しており、少し慣れると楽しく滑っていました。また、最初は何回もしりもちをついていた児童も徐々に上手に滑れるようになり、上達の速さに驚きました。今回の体験が子どもたちにとって楽しい思い出になったことと思います。

雪山スキー教室

瀬戸公民館

2月7日（土）、内子町のソルファ・オダスキーゲレンデにて、毎年恒例の雪山スキー教室を開催し、瀬戸地域の小学5・6年生21名が参加しました。

教室は2組に分かれて行い、それぞれの組にインストラクターの方が1名ついて頂きました。

まずは傾斜の緩やかな場所で準備運動を行い、スキー板のはき方から始め、午前中にはスキーの基本的な動作を学びました。

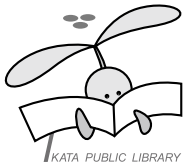
午後には全員がリフトに挑戦。初心者用のファミリーコースで滑りを楽しむことができました。

最初は何度も転んでいた子も、帰る頃には上手に滑ることが出来るようになっており、上達の早さに驚かされました。

このスキー教室で子ども達は、地元と違った自然に触れる貴重な体験ができました。また、学校や学年の枠を超えた交流により、友好の輪を広げる良い機会になったのではないでしょうか。

1班　12名

2班　9名



図書館だより

3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	◯14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	◯28
29	30	31				

◯…おはなし会　□…休館日

利用案内

■**開館日時**／火曜日～日曜日　午前９時30分～午後６時
■**休 館 日**／毎週月曜日（月曜日が祝日の時はその翌日も）
祝日・月末図書整理日・年末年始・蔵書点検日
■**瀬戸・三崎地域の方へ**
瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター２階）
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地
TEL（0894）38-0607

新着図書

《一般書》

『あの子が欲しい』
朝比奈　あすか／著

《内容紹介》
新進ＩＴ企業「クレイズ・ドットコム」の採用プロジェクトリーダーを任された志帆子。情報戦と心理戦を駆使して成果を上げていくが…。「就活」の裏側をリアルに描く。

『たんぽぽ娘』	R.F.ヤング／著
『冷蔵庫を抱きしめて』	荻原　浩／著
『帰り来ぬ青春』	藤田　宜永／著
『女王はかえらない』	降田　天／著
『サーカスの夜に』	小川　糸／著
『図書館の魔女 烏の伝言』	高田　大介／著
『心臓異色』	中島　たい子／著
『独特老人』	後藤　繁雄／著
『艦隊これくしょん-艦これ-4』	築地　俊彦／著
『小説創業社長死す』	高杉　良／著
『少年探偵』	小路　幸也／著
『絵でわかる感染症』	岩田　健太郎／著
『心地いい暮らしを作る100のヒント』	リンネル編集部／著

ほか

《児童書》

『ロバのジョジョとおひめさま』
マイケル・モーパーゴ／文
ヘレン・スティーヴンズ／絵

《内容紹介》
だれにもやさしくしてもらったことのないロバのジョジョ。ところがある日、やさしいおひめさまと出会い…。ベネチアの町を舞台にしたお話。

『バスのたび』	工藤 ノリコ／作
『ありがとさん』	こんの　ひとみ／作
	いもと　ようこ／絵
『コロッケです。』	西村　敏雄／作
『おばあちゃんのひなちらし』	野村 たかあき／作・絵
『子ヤギがうまれたよ!』	長谷川 知子／ぶん・え
『ルルとララのフレンチトースト』	あんびる やすこ／作・絵
『それいけ!ぼっこくん』	富安　陽子／作
『チロリのまなざし』	大木　トオル／著
『高崎山のベンツ』	江口　絵理／著
『リリコは眠れない』	高楼　方子／作
『わたしに魔法が使えたら』	小林　深雪／作

ほか

新しく購入した本は下記の図書館ホームページからもご覧いただけます。
URL：http://www.town.ikata.ehime.jp/site/tosyokan/

中村修二さんのミニ展示を行っています

伊方町大久出身で、ノーベル物理学賞を受賞した中村修二さんの著書や関連本を、図書館カウンター横で展示中です。2月5日に開催された町民栄誉賞贈呈式、記念碑除幕式などの新聞記事も掲示しています。皆さんぜひご覧ください。

ピップスおはなし会のご案内
～ 3月のおはなし会 ～

日　時：１４日（土）・２８日（土）
午後１時３０分～
場　所：図書館　おはなしコーナー
対　象：どなたでも参加できます♪

絵本や紙芝居など、たのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね！

町見郷土館から

御殿雛今年も並びました

佐田岬みつけ隊有志で毎年、館のロビーを飾っている御殿雛、今年も飾り付けできました！町内在住の方のお宅にあったもので、戦前のものと戦後のものがそろい踏み！ぜひ実物をご覧になって歴史と華やかさをご堪能ください♪

佐田岬半島の自然スライド上映会（第93回）

3月25日（水）19時～

今月のテーマ

「お目覚め早春の花々巡り」

※入場無料・お気軽にお越しください。

■TEL・FAX 39-0241（不在の場合）38-2661 生涯学習室
■開館時間 9：30～16：30
■休館 月曜日ほか

◆ 今月のきょうどかん ◆

2015年 3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	◯25	26	27	28
29	30	31				

◯＝夜スライド上映　■＝休館日

佐田岬民俗ノート 118

発見！遍路の道標

先日、八幡浜市の菊池久さんから情報提供いただきました。高知県の四国霊場第三十九番札所延光寺の駐車場前にあったお遍路さんの道標に「伊方」の名前があったよ！とのこと。ありがとうございます！

さっそく現地で確認しました♪なんと今から百二十五年前の明治二三年（一八九〇）、伊方村豊之浦の上田儀三郎以下七名が施主となって、延光寺から次の札所―つまり愛媛県最初の札所、現在の愛南町の四〇番札所観自在寺までの七里の距離を指し示した道標でした。

しかも願主は中務茂兵衛（一八四五―一九二二）。山口県周防大島出身で、生涯で四国遍路を二八〇回巡拝し、その間に二三〇余基の道標石を建てた人物です。今回の道標は茂兵衛が百十四回目の巡拝の供養に建立したものだったのでした。

どういうご縁や経緯で豊之浦の人々と中務茂兵衛がここに道標を建てたのかは不明ですが、遠く高知で佐田岬半島の人々の信仰の足跡に出会うことができました。

四国霊場第三十九番札所　延光寺（高知県宿毛市）
参拝者専用駐車場前の道標石　翻刻

砂岩製　法量　高さ一二三・五センチ　二三・〇×二三・〇センチ

正面
「第三十九番灵場」

向かって左面
「明治廿三年五月吉辰」

向かって右面
「四十番　是ヨリ七里
伊豫國西宇和郡伊方村豊之浦
施主　上田儀三郎　上田徳蔵
三浦吉次郎　井上光佐
稲田仁三郎　尾上多吉
加藤重吉」

後面
「壹百十四度目爲供狼建之
周防國大島郡椋野村住
願主　中務茂兵衛義教」

平成26年度　人権作文から

「おばあちゃんの介護」

伊方中学校　1年　藤堂　一宏

僕のおばあちゃんは、数年前から少しずつ認知症の症状が出始めていた。その頃の僕は幼かったので、おばあちゃんの変化には、あまり気づいていなかった。断片的な記憶しかないが、症状が出始めた頃のおばあちゃんは、いつも優しくてよく遊んでくれたことを覚えている。

しかし、僕にもはっきりとおばあちゃんの異変に気がつく日が訪れた。おばあちゃんは、急にお金の感覚がなくなってしまったのだ。お金を取り出し、自分が育てた植物だと思って僕に紹介をしてきたのだ。その時の僕は、「認知症」という病気について全く理解していなかった。「おばあちゃんは、年をとっているからかなぁ。」くらいにしか思っていなかった。しかしこのころから、おばあちゃんは変なことを口走ったり、夜中に気が狂ったように大声で叫んだりした。僕が知っているおばあちゃんとは違って、とても怖かった。

この頃の母たちが一番心配をしていたのは、おばあちゃんが寝たきりになってしまうことだ。そうなれば、益々症状が進行していくかもしれないからだ。そこで我が家では、家の中では、荷物を置く場所などに気をつけて、祖母が転倒しないように気をつけていた。それでもある時、転んでしまった。そしてその時から、祖母は、寝たきりになった。それからというもの、家族全員でのおばあちゃんの介護生活が始まった。朝起きてまず、おむつ換えをする。次に、自分では起き上がることができなくなっていたおばあちゃんの体をみんなで起こし、ていねいに拭く。そして、手も動かすことができなかったので、ご飯を口に運んで食べさせてあげた。そんなことが一年くらい続いた。一番大変だったのは、おむつ換えだった。おばあちゃんは、いつもおむつの中に手を突っ込んでは、汚いものをまさぐっていた。気づくのが遅れると、体も寝具も何もかもが汚物にまみれてしまっていた。そんなおばあちゃんの姿を見て僕は、嫌になり、だんだんと寄りつかなくなっていった。

僕の家はミカン農家なので、秋から冬にかけて農繁期だ。昼間は家に誰もいられない。おばあちゃんのお世話ができないので、介護施設で見ていただくことにした。僕は、おばあちゃんと離れるのは寂しい気もするけれど、これで楽になった気もした。

こうして、おばあちゃんの施設での生活は、三年近く続いた。しかし、その間僕は、あまりお見舞いには行かなかった。変わり果てたおばあちゃんを見るのが怖かったからなのかもしれない。でも今年、僕の誕生日に、おばあちゃんに無性に会いたくなった。そして、施設に会いに行った。久しぶりに見たおばあちゃんは、別人のように見えた。言葉を話すことができずに、ただ口をぱくぱくさせているだけだった。目は、どこを見ているのか分からず、キョロキョロしていた。僕は、おばあちゃんのそんな姿を見たくなかった。あまりにも変わり果てた姿だったので、ショックだった。「気味が悪いな。」とさえ、思ってしまった。何だか、人間が人間でないように思えた。そして、しばらくおばあちゃんを見ていた。僕に優しかったおばあちゃんの思い出があふれてくる。父や母は、何を語ってもおばあちゃんには伝わらないけれども、明るく話しかけたり、体をさすったりしていた。父や母のおばあちゃんに対するかかわり方を見て、僕は気がついた。おばあちゃんを人間でないように思い、おばあちゃんの人格そのものを否定している自分が恥ずかしくなった。家族なのに、何ということを思ってしまったのだろうかと反省をした。僕のことがわからなくなってしまったといっても、僕の大切なおばあちゃんに変わりはないのだ。

僕がおばあちゃんの所にお見舞いに行ってから一ヶ月が過ぎた頃、施設から、おばあちゃんが亡くなったという知らせが届いた。突然だった。

葬儀の日、棺の中のおばあちゃんを見て、涙があふれた。おばあちゃんは、もっと家族で楽しく暮らしていたかっただろうと考えると、おばあちゃんも泣いているように見えた。僕の中の後悔は、最期まで自分の家で看ることができなかったことだ。しかし、農家の我が家にとっては、仕方のない選択であったし、家族で決めたことでもあった。本当の後悔は、僕の心がおばあちゃんから離れていた時期が長かったということだ。

僕がおばあちゃんの介護で思ったことは、まず、知ることが大事だと言うことだ。僕は、認知症について何の知識も持たないまま、祖母に接していた。だから、祖母と心が離れてしまったのだと思う。もっと正しく理解していれば、認知症になった祖母に対して失礼なことを思わずにいられたと思う。学ぶことで偏見を持たず、みんなが安心して生活できるように向き合っていくことが大切だと思う。

平成26年度　人権メッセージから

「命の大切さ」

三崎小学校　5年　宇都宮涼花

わたしの家は、犬をかってます。その犬は保健所の処分犬でした。今から三年前、父が知り合いの人から処分犬の話を聞きました。家族全員で見に行きました。処分される犬を見てとてもかわいそうでした。人間にすてられた犬がたくさんいて、わたしはこんな風にすてないと思い、みんなで決めて犬をひきとりました。わたしはどんな命でも大切なのだということを、改めて知りました。今、その犬は元気で家族の一員となっています。

広報 文芸

俳句

伊方俳句会

鹿尾菜煮る厨に潮と陽の匂ひ　二宮壽賀子
あるがまま生きて米寿ちゃんちゃんこ　門田千枝
デイサービス壁画の姫や木の芽吹く　上田サチエ
囃されて唄う演歌の新年会　山嵜美喜
セーター編む毛玉遠くへころがして　梶谷千代子
節分に請われて父が鬼になる　石井義夫
愛犬のファッション素敵や梅見頃　上田幸香
柔らかな日差し香し梅一輪　井上良枝
北風や一人居の門ぴったりと　渡辺日出子
成人日国旗まばらの過疎の浦　上田益男
雛の膳はみ出す尾鰭金目鯛　木戸悦子
頑張って手の温もりや冬晴れて　宇都宮睦子
伊予柑や赤く頬染め籠の中　足利敦子

瀬戸句会

賀状来ぬ人を気にかけ独り住む　福岡博
外孫は故郷のみかん懐かしむ　吉見福子
春立つや老々介護の夫婦かな　伴翔子
岬の端三寒四温近づきぬ　北英二
味噌雑煮未だ馴染めぬ伊予育ち　佐々木煦
いいことの有りそな予感冬の虹　佐々木禮子
晩年は人それぞれぞ冬の暮　中西一郎
ほろ酔ひは猪口で三杯冬の月　中西美智子
時雨中葉刈りのをとこみな無口　吉野明
柚子風呂や少し小粒の庭育ち　吉野文代

北斗の会

初春の別府湯めぐり子に委ね　伊藤植美
三ヶ日明け体重計にそっと乗り　井上奈津子
福寿草北斗の会の健やかに　佐々木順子
きらきらと太陽登る茜雲　藤村冨士子
七草粥供へ神前灯をともす　水野千代美

あみだ句会

菜の花や浜への径に咲きつづく　中村千代香
危ぶみし命保たる初御空　阿部よし子
割箸の音清々し雑煮かな　松本光子
髪染めに老を紛らす春隣　宮部タミエ
実南天白寿の人の律儀なる　玉里宏子
古き写真に話の尽きぬ女正月　木原敬明
取り敢えず修す石積年の暮　池井為吉

児遊館より

映画上映会のご案内

3月14日（土）児遊館にて映画上映会を行います。
お楽しみ映画だよ!!
上映時間　1回目　10：00～、2回目　15：00～

工作教室

「ペットボトルキャップを使って小物を作りましょう!」

3月28日（土）午後2時から、
ペットボトルのキャップを使って、
カワイイ小物を作りましょう。
参加される方は当日時間までに、
児遊館にお越し下さい。
参加費：無料

※ イメージですので、このとおりではありません。

【お問い合わせ】
伊方町生涯学習センター内　児遊館 38−0211（内線855）